

今治工業高校の学科改編について

1 改編の内容及び令和9年度入学定員(案)

国が造船業を経済安全保障上の重要な戦略分野に位置付けたことや地元造船関係企業からの強い要望があることなどから、次のとおり、学科改編を行う。

- 「機械造船科」を改編し、「造船科(仮称)」と「機械科(仮称)」を設置する。
- 「環境化学科」と「繊維デザイン科」を統合し、「環境化学繊維デザイン科(仮称)」を設置する。

【現行】

小学科	定員	学級数
機械造船科	40人	1学級
電気科	40人	1学級
情報技術科	40人	1学級
環境化学科	40人	1学級
繊維デザイン科	40人	1学級

【令和9年度入学以降】

小学科	定員	学級数
造船科(仮称)	40人	1学級
機械科(仮称)	40人	1学級
電気科	40人	1学級
情報技術科	40人	1学級
環境化学繊維 デザイン科(仮称)	40人	1学級

2 造船科の概要

- ・大学や地元造船・船用工業と連携し、海事産業全体を俯瞰した知識・技術を身に付け、産業の持続的成長を支える人材を育成する。
- ・地元企業の協力による質の高いインターンシップやデュアルシステムを実施する。
- ・企業の技術者を外部講師として招聘して授業を実施する。
- ・地域と連携した人材育成システムを魅力として打ち出し、全国募集を実施する。

など

3 期待できる効果

- ・大学や地元企業などと一体となったアドバンスト・エッセンシャルワーカー等を育成する拠点とすることができる。
- ・実社会に通用する資質・能力を身に付けるための実践的・探究的な学びを実現できる。
- ・造船科の魅力化・特色化により、県内外から生徒を幅広く募集することができる。

など